

1 基本情報

予算中事業コード	40	予算小事業コード	O5	事業名	高津区協働事業提案事業		
事業所管課	企画課		担当者	田島	連絡先	861-3132	
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	地域の課題が多様化する状況の中で、すべての区民ニーズに行政がきめ細やかに対応することは困難な状況にある。一方で、地域においては市民による公共的な活動が行われている。市民の生活者としての視点・発想を活かし、市民の皆さんと相互に連携・協力し、課題の解決やサービスを提供していくことが必要である。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の提案を基に、市民と協働で地域の課題を解決する。 ●市民から事業提案を募集し、その提案の中で優れたものを選定し、その事業を提案者(市民)自らが区と協働して執行する。 ●事業選定に当たっては、高津区協働事業提案選考・外部評価委員会を設置する。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	3,283,000	決算額	3,024,000	不用額	259,000
不用の理由	●選定された2事業の委託料、及び筆耕翻訳料について、予定より少額だったため				
事業目標	●様々な地域課題に対する市民からの提案を外部の選考委員会により公平に審査し、選定された地域課題を協働のルールに則り相互に連携・協力し解決していく。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●募集期間中に説明会を開催する。 ●選定にあたっては、外部委員会と協議の上、最終的に区長が決定する。 ●23年度実施事業については、中間ヒアリングや報告会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行う。 				
事業目標を達成する上での課題等	●応募団体の減少が懸念されており、積極的に参加してもらえよう募集内容や手段を検討する必要がある。				
実績	<ul style="list-style-type: none"> ●提案事業の紹介リーフレットを募集開始前に配布 ●23年度事業として以下の事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・廃食油を活用した高津ブランドエコツアース走行モデル事業 ・高津区スポーツネットワークづくり推進事業 ●24年度実施事業の募集・選定(選定事業数は0件) 				
協働の視点	●事業の選定から区民との協働を重視した事業であり、川崎市協働型事業のルールに則り事業を実施している。				
環境配慮への視点	<ul style="list-style-type: none"> ●募集テーマに「環境まちづくりに関するもの」を設定した。 ●委員会資料については、事前送付した資料を委員会当日にも持参していただくよう各委員に依頼し、用紙の削減に努めた。 				
取組の成果	●選考・実施した事業については、協働の理念をお互いに理解し、適正に事業執行を進めることができ、事業執行地域の課題解決に対して大きな成果を生み出している。				達成度
	●次年度事業の選定に際しては、公開プレゼンテーションを実施したほか、選考結果等を随時ホームページ等で広報し、選考過程の公平性・透明性を確保することができた。				3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、協働型事業のルールに則り、双方の役割分担の明確化や事業の振り返り等を行い、協働型事業のリーディングケースとして事業を実施していく。 ●23年度は提案数が2団体に減少した上、選定された事業が0となった。多量の団体から提案を募るため、制度の周知と制度自体の見直しが必須である。

1 基本情報

予算中事業コード	40	予算小事業コード	05	事業名	廃食油を利用したエコツアーバス走行モデル事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	三門	連絡先	044-861-3133
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	地域内の資源循環の普及啓発を図り、「エコシティたかつ」推進方針で掲げる市民協働の環境まちづくりを推進することが課題である。
事業概要	区内の一般家庭から回収した廃食油で精製したバイオディーゼル燃料を使用し、マイクロバスを走行させ、区内で実施する「たちばな農のあるまちづくり」や橋ふるさと祭り等の事業と連携したエコツアーを実施する。バイオディーゼル燃料の活用モデルとして調査研究を進めるとともに、地域内の資源循環の普及啓発を図り、「エコシティたかつ」推進方針で掲げる市民協働の環境まちづくりを推進する。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,500,000	決算額	1,500,000	不用額	0
不用の理由					
事業目標	地域内の資源循環の普及啓発を図り、「エコシティたかつ」推進方針で掲げる市民協働の環境まちづくりを推進することが課題である。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●試験走行を含め、「たちばな農のあるまちづくり」各イベントや橋ふるさと祭り等の地域行事と連携し、10回程度走行させる。走行ごとに運行コース、を企画調整する。 ●シンポジウム「(仮)廃食用油は地域の資源」を開催する。 				
事業目標を達成する上での課題等	バイオディーゼル燃料100%での運用は、一般的な車両保険の対象とならないため、車両負荷による故障等が発生した場合の危険負担の問題が課題となる。				
実績	<ul style="list-style-type: none"> ●区内事業との関連で15回走行し、合計1,003人の参加者を得られた(他区他団体等との連携によりこの他16回走行、参加者460人)。 ●11月19日に「食とエネルギーの資源循環フォーラム」を行い、環境問題を中心に食育、地産地消に関わる団体を招きパネルディスカッションを行った。 				
協働の視点	本事業は高津区協働事業提案事業によって採択された事業であり、事業開始前の相談段階から事業終了に至るまで、協働の6原則をもとに実施した。				
環境配慮への視点	事業の提案内容そのものが環境に資するものである。				
取組の成果	当初予定していた調査研究、啓発を行うことができた。また、エコバスを利用した各市民活動団体・グループ間のネットワークが生まれ、結果として本事業終了後も受託者が同様の事業を継続する見通しが立った。				達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を終了する
	提案採択時の付帯条件により単年度で終了するが、事業を遂行していく中で、エコバスを利用した各市民活動団体・グループ間のネットワークが生まれ、本事業終了後も受託者が同様の事業を継続する見通しが立った。

1 基本情報

予算中事業コード	40	予算小事業コード	05	高津スポーツネットワークづくり事業		
事業所管課	地域振興課		担当者	加藤	連絡先	044-861-3145
関係局(局区連携事業は記載)						

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ●区内のスポーツ情報の集約及び団体間のネットワークをつくることにより、一元的な情報の発信・市民参加の拡大・団体間の連携による地域活性化を行う。 ●区内に点在する様々なスポーツ情報、健康づくり情報を一元化し、区民に広く情報を発信して行くとともに、アスリート育成や区民の健康や娯楽としてのスポーツを促進する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の新鮮なスポーツ活動情報を集約したHPを作成し、スポーツによる区民生活の活性化を図る。 ●この組織が構築するネットワークを活用し、区内で行われるスポーツ大会等をサポートし、円滑な運営を図る。 ●地域の専門的なスポーツ人材を発掘・育成し、区内学校体育・部活動等へ派遣したり、HP上で紹介・斡旋を行う。 ●これまでの地域活動における団体・企業・学校をベースとしたネットワークの再構築と、行政の連携による新たな参画団体の模索による、新たな区内ネットワークの創出を図る。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,310,000	決算額	1,310,000	不用額	0
不用の理由					
事業目標	区内に点在する様々なスポーツ情報、健康づくり情報を一元化するHPを作成し、区民に広く情報発信していくとともに、アスリート育成はもとより、区民の健康や娯楽としてのスポーツを促進する。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●情報発信の核として、参加団体及び一般市民の双方を対象としたHP「たかつスポーツねっと」の作成 ●区内で活動する様々なスポーツ団体・活動等を区民・企業・団体等に広く知らせるための、地域スポーツ・健康づくり情報誌「たかつスポーツねっとガイドブック」発行 ●スポーツ人材の発掘及びスポーツ・健康づくり関係団体等によるネットワークの構築 				
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の充実したスポーツ健康づくり情報を発信するための多様な団体の参画の推進に向けた取組 ●持続可能なネットワークの仕組みづくり 				
実績	<p>【委託先】特定非営利活動法人 高津総合型スポーツクラブSELF 理事長 平口和宏</p> <ul style="list-style-type: none"> ●区内のスポーツ情報を集約したHP「たかつスポーツねっと」の作成 参加団体35団体、3月実績のアクセス件数1,386件 ●官民一体の地域活性化イベントの開催 <p>「親子そり教室」平成23年12月29日(木) スノーヴァ溝口-246 晴れ 53組大人65名子供82名参加 平成24年1月4日(水) スノーヴァ溝口-246 晴れ 46組大人69名子供68名参加(参加団体の連携)</p> <p>「きっすチャレンジ自転車教室」平成24年3月11日(日) 溝の口ガーデンアクアス 晴れ 約200名参加(指導者派遣)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報誌「たかつスポーツねっとガイドブック」4,000冊の発行 				
協働の視点	事業を展開する前に団体、行政の協議を十分に行ったうえで、共通の目的意識及びお互いの役割分を明確にして事業推進を行った。地域における双方の利点を十分に活かし、民間及び公共のスポーツ関係団体へのアプローチを進めることで多様な団体によるネットワークを構築することができた。				
環境配慮への視点	エコイベントとして、スノーヴァ溝の口-246で開催された「親子そり教室」で太陽光発電によるグリーン電力を使用した。				
取組の成果	年間スケジュールを明確にして、官民双方の役割を果たしたことで新たな地域団体によるスポーツネットワークを構築することができた。また、地域住民に対しては、ホームページやガイドブックによる官民を超えた利便性の高い情報発信を行うことができた。さらに、「親子そり教室」などのイベントを行うにあたり、ネットワークへ参画する各主体間の連携促進のため調整を行った。これにより、多くの参加者を募ることができ、今後のネットワークづくりにおいて、モデル的な事業実施となった。				3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を終了する
	協働事業提案事業としては終了するが、今後スポーツねっととしては引き続き団体と協働し、それぞれの立場を活かしたネットワークの運営を協働で図っていく。また、新たな団体間の連携推進や既存の地域のスポーツイベントである親子運動会やスポーツ推進委員関係イベント等でネットワークを活かした地域連携を推進するとともに、提案団体の側面的な支援を行いながら新鮮な地域のスポーツ・健康づくり情報を発信していくことで市民の生涯スポーツ・健康づくりを啓発していく。